

平成 30 年 1 月 14 日

TSC 会員の皆様

1 月例会報告

1 日時・会場 1 月 14 日（日） 午前 10 時から 12 時 板橋区立高島第一中学校

2 発表内容

(1) 多摩市立聖ヶ丘中学校 佐久間直也 先生 「実践報告 抵抗の大きさ」

自作の抵抗器や抵抗線を取り付けた実験装置にて、抵抗線の太さ、長さにより電圧・電流を測定し、オームの法則を導く授業実践の報告。くわしくは、メールに添付の指導案をご覧ください。

電源に手回し発電機を使うことの是非やこの授業に関しての理科の見方・考え方とはについて議論。

→手回し発電機についての是非

△…発電機の手応えは、抵抗が小さいほど大きいことを説明するのが難しい、
定電圧を送るのが難しい。

○…電力や負荷について発展的に扱える。

→見方・考え方

このような見方をすることで、このような考え方をすることができる。

(2) 品川区立八潮学園 山口 晃弘 先生 「これからの「理科学習指導案」プロット案」

1 目標、2 内容、3 本単元で働かせる理科の見方・考え方 (1) 見方 (2) 考え方 4 本単元で育成する資質・能力 (1) 知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力等 (3) 学びに向かう力・人間性等 5 評価規準 (1) 知識・技能 (2) 思考・判断力・表現力等 (3) 主体的に学習に取り組む態度
6 指導の重点 7 指導計画 8 本時の学習計画

→これがこれからのスタンダードになるかもしれません。

(3) 板橋区立高島第一中学校 大久保秀樹 「教材演示装置の活用（像の見え方）」

教材演示装置にスクリーンに映る像を投影する。

同装置に鏡に映る像を投影する。

→生徒実験でやったことの確認にみんなで大きくみることができてよい。

教室の大型スクリーンに鮮明に映すのが困難。